

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢

小学校教諭

その仕事や夢を選んだ理由

子ども達に色々なことを教えたい。未来を担う子供達のサポートをしたい。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
教育免許状、学費、子どもに負けない元気・体力、子どもへの愛、子ども達の考えを探り出す力、子ども達からの信頼感、笑顔、気合い

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12才 小学校	水泳を習い、25m泳げるようにする。ピアノを習う。中学校に向けて塾に通う。低学年の子達と仲良くする。先生にどうや、先生になれたか聞く。
13才 中学校	中学校入学。吹奏楽部に入り、体力をつけ、将来子ども達の前で演奏できるようにする。受験勉強を頑張る。
16才 高校	高校入学。吹奏楽部は続ける。教育についての勉強を頑張る。志望校合格に向けて受験勉強を頑張る。
19才 大学	大学入学。一年生の間はとにかく勉強し、知識を広げる。
20才	小・中・高の教育実習に行き、就職したときの参考にする。
22才	試験勉強を頑張る、教育免許状を取得する!
23才 仕事	智辯学園和歌山小学校の先生になる! まずは生徒に信頼してもらうために、毎日笑顔で楽しく過ごすようにする。
26才	学校内全員の名前を覚えて、全員と仲良くなる!

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと

結こんして、子ども二人の四人家族。大きな猫を二匹飼う。大きなテレビを買う。2階建ての家を建てる。編み物と読書を趣味にする。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。

六年間変わらない、私の夢

智辯学園和歌山小学校 六年 有田 結衣香

私の将来の夢は、小学校の先生になること。そして、母校である智辯学園和歌山小学校に戻ってくることだ。幼稚園の頃は、お仕事体験に行ったことがきっかけで、キャビンアテンダントになったのだが、小学校一年生の時に先生になると決めた。実際に、七夕の短冊には、毎年小学校の先生になりたいと書いている。どうして小学校の先生になろうと思ったのか、理由は二つある。

一つ目は、一年生の時、担任の先生に質問をしたらすぐに答えてくれて、とてもすごいと思い、私もそんな先生になりたいと思ったからだ。今でも、生徒の質問に対応している先生を見ると、「やっぱりすごいな」と思う。それに、信頼されていないと、質問されることもないので、信頼されているあかしだなとも思った。なので、私もそんな先生になりたいと思ったのだ。

二つ目は、生徒に学校はこんなに楽しくて面白い場所だということを見せてあげたいと思ったからだ。私は、小学校に入学して、学校はこんなに面白いところだったのか、学ぶのはこんなに面白いのかと感動した。それは、授業に限らず、運動会や宿泊行事などのすべてのことに該当した。それは、先生のおかげだと私は思う。授業をして、勉強の楽しさを教えてくれたのも、運動会ではじめにみんなを盛り上げてくれたのも、全部先生だったと気付いた。なので、私も先生になつて、生徒たちに私と同じような思いをして、最高の小学校ライフを送る手助けをしてあげたいと思う。

もちろん、なりたいと思っていれば、教育免許状を取得する必要がある。そのためには、高校でみっちり勉強して、いい大学に入ろうと思う。でも、勉強だ

けでは私も納得がいけないので、中高では吹奏楽部に入ろうと思う。それは、隣のクラスの先生が、高校時代に吹奏楽部に入っていたと知ったことがきっかけだ。その先生が、四年生の時の宿泊行事でみんなに披露しているのにあこがれた。その先生はホルンだが、私はアルトサクソスを吹いてみたいと思う。そして、将来子供たちの前で披露してみたいと思う。私は、いつも私たちを全力で応援してくれている先生方に感謝している。そんな先生をみて、私は小学校の先生になろうと思えた。なので、私も生徒たちを全力でサポートできるような、小学校の先生を目指そうと思う。